

# CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14-11 鳥和三田ビル8階

電話:+81-3-6453-9601

## 黒鉛化能力不足 負極材料の需要逼迫が続き

2020年第4四半期以来、中国では負極材料生産における黒鉛化工程の生産能力が不足し、黒鉛化価格は上昇している。現時点で、黒鉛化価格は去年より70%高くなっており、具体的な原因は以下の通りである。

### 1. リチウム電池市場は好調に推移、上半期の駆動バッテリー搭載量は3倍に増加

今年6月、中国の駆動バッテリーの搭載量は合計11.1GWhで、前年同期比136%上昇した。三元系電池の搭載量は5.9GWhで同比98%増、リン酸鉄リチウム電池は5.1GWhで対前年比3倍以上となった。1~6月、駆動バッテリーの搭載量は52.5GWhで同比3倍に増加した。

2021年の駆動バッテリー市場は中国のみならず、海外市場でも需要が高まっている。ICC 資料によると、欧州の新エネルギー自動車生産量は今年230万台を突破し、世界の新エネルギー自動車販売量は580万台に達する可能性が高いとしている。

### 2. 上半期 リチウム電池用負極材料の生産量は前年同比138%増

ICC 資料の統計では、1~6月、中国17社のリチウム電池用負極材料生産企業の合計生産量は30万8,900トンで、前年同期より138%増加した。負極材料生産量の大幅な増加は黒鉛化需要の高まりにつながる。

### 3. 黒鉛化生産能力は現状を維持、新規事業許認可と建設は遅延

ここ数年の黒鉛化生産能力の過剰や価格低下の影響により、2020年の黒鉛化生産能力は69万5,000トンではほぼ現状を維持した。需要逼迫と価格高騰のため、2020年末から各社は次々と黒鉛化の拡張計画を立てたが、エネルギー多消費量産業として、黒鉛化事業の許認可と建設は時間がかかっている。

### 4. 頻繁な電力使用制限により黒鉛化の生産抑制

中国の黒鉛化生産は主に内モンゴル、四川、山西、雲南などに集中している。

内モンゴルの生産能力は最も高く、全体の46%を占める。今年から黒鉛化産業はエネルギー多消費産業としてエネルギー消費抑制策の対象となる。4月から一部の黒鉛化企業は電力使用制限により生産が10%減少した。

需要逼迫のため、黒鉛化価格は高くなりつつある。現時点では負極材料生産向けの黒鉛化価格は1.8~2.2万円/トン(29.7~36.3万円/トン、1元=16.5円で換算)だが、一時は2.3万円/トン(38万円/トン)と前年より70%も高騰した。

# CMI 株式会社

本社:東京都港区三田三丁目14-11 鳥和三田ビル8階

電話:+81-3-6453-9601

---

多くの企業は黒鉛化の拡張計画あるいは建設を進めており、新たな生産能力は早ければ来年稼働できるだろう。

ICC 資訊によると、2021 年、中国の負極材料生産量は 70 万トン、2022 年は 100 万トン台となる見込みで、2022 年第 3 四半期まで黒鉛化価格は大幅に下がることはないと予測している。

情報源：ICC 資訊より。